

住民参加により維持管理を行います

維持管理計画に基づき、土地改良区を主体とした地域住民等の参加及び関係機関等との連携により、適正な維持管理を行うことが重要です。また、維持管理や環境学習の一環としてモニタリングを定期的・継続的に実施することが望ましい。

手引きP84「5.5モニタリング」参照
手引き(第2編):ため池P 54「第5章維持管理」参照
手引き(第2編):農 道P106「第5章維持管理」参照

老人クラブによる水路の清掃例



新潟県五泉市では、老人クラブが清掃活動や野鳥の巣箱の設置などを行っています。

高校生によるため池の清掃例



兵庫県H高校では、「渡り鳥を釣り糸から守ろう!」というクリーンキャンペーンを学校周辺のため池で実施しています。

ボランティアによる道路沿いの植栽例



新潟県入道村では、道路修景美化条例を制定し、道路の美化と保護に努めており、地域住民がボランティアとして、維持管理を行っています。

環境学習によるモニタリング例



大阪府Y小学校では、関係機関との連携のもと、ため池環境づくりのワークショップ活動に取り組んでおり、ため池内に生息する生物を調査しています。

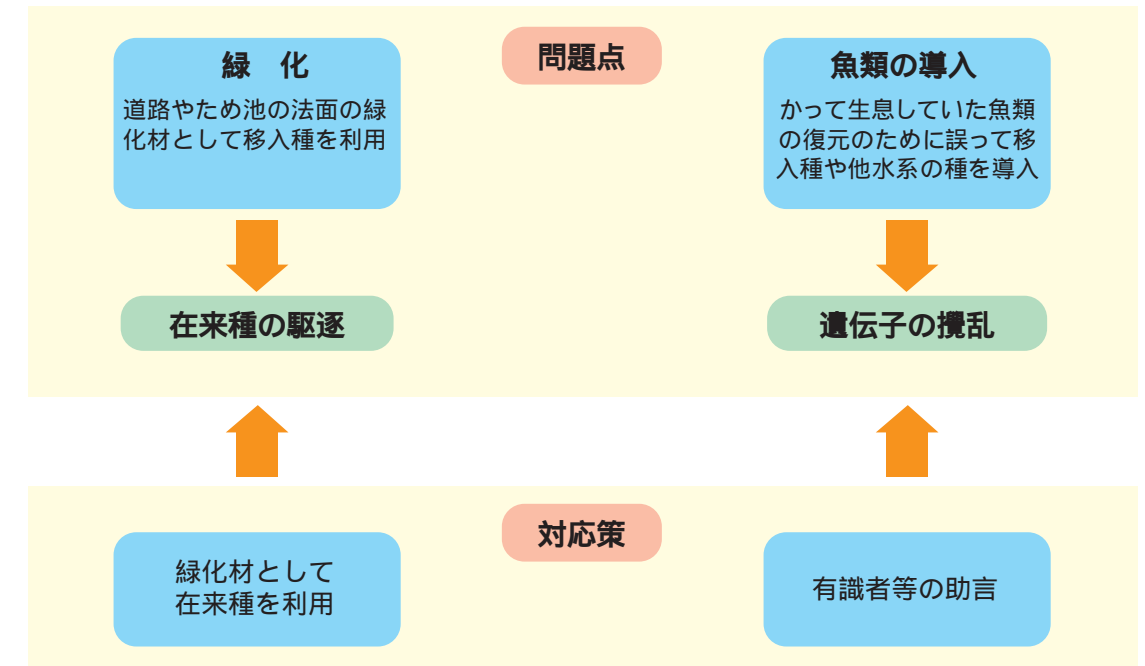
生態系に影響を与える移入種に留意します

1. 農業農村整備事業実施の際の留意点

事業実施にあたり、移入種に関しては問題発生を未然に防ぐための対応策が必要です。

手引き(第2編)P112~114「1.2農業農村整備事業における移入種への留意点」参照

移入種に係る問題と対応策の例



農村地域で見られる移入種の例



タイリクバラタナゴ
ニッポンバラタナゴとの交雑によるニッポンバラタナゴの消滅、在来種との競争による在来種の駆逐が懸念されています。



アライグマ
農作物に対する食害に加え、補食・競合による在来種への影響が懸念されています。



スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)
食用として輸入されたものが野生化し、九州を中心とした関東以西の地域で水稻の食害被害が発生しています。



セイヨウオオマルハナバチ
花や営巣場所を巡る競争等を通じて、在来のマルハナバチや野生植物の繁殖への悪影響が懸念されています。

2. 持ち込まれた移入種に対する取組み

意図的導入・非意図的導入を防止するための啓発

移入種が新たに農村地域に定着しないよう、各地で移入種の導入防止に関する啓発の取組みが行われています。

徳島県における啓発の例



徳島県が作成している啓発用パンフレット

徳島県では、県の内水面漁業調整規則でオオクチバス等の移植を禁止し、違反した際の罰則規定を設けるとともに、釣り人向けに移植禁止のパンフレットを作成・配布することで、新たな定着の防止に努めています。

持ち込まれた移入種を駆除するための取組み

持ち込まれた移入種が問題化しているところでは、駆除の取組みが行われています。

駆除対策例



発生前

ウォーターレタス繁殖後

ウォーターレタスの除去

観賞用等で導入されていたウォーターレタスが不意に水路に流入して異常繁殖し、水面の日光が遮断され淡水魚などの生態系に悪影響を及ぼすことから、自治体等が駆除を続けています。



よみがえれ たんぼのメダカ

自然と共生する田園環境の創造は、われわれにとって新たなチャレンジです。みんなで考え、楽しみながら環境との調和への配慮を進めていきましょう。

1. 楽しみながら取組みましょう

地域に存在するまたは存在していた生きものたちを守り、回復させるために、その地域に合った方法を創意工夫し、「遊び心」を持って取組みましょう。
(ただし、移入種等の導入により、もともと地域に存在しなかった環境を人工的に作り出すのは避けましょう。)

2. みんなで創り、育てましょう

計画や実施にあたり、地域の人々の様々な角度からの自由な意見を取入れ、維持管理も地域のみんで役割を担い、水田や水路などが「みんなの宝」とであるという気持ちで取組みましょう。

3. できるところから始めましょう

市町村、農家、市民グループなど関係する人々の間で、計画や実施の内容、将来の維持管理の方法や費用の負担について了解され、体制が整ったところから順次、着実に進めていきましょう。

4. 少しずつ広げていきましょう

農村景観を含む一定の広がりを持った環境(二次的自然)の中で、「水の流れ」や「生きものたちのつながり」(食物連鎖)を考慮し、徐々に生きもの種類を増やすような環境づくりを目指しましょう。

5. 粘り強く続けましょう

一度作ったら作りっぱなしというのではなく、その後どうなるかを見越し、また、施工後の状況についても調査し、必要なら修正するなどして、徐々によりよいものにしていきましょう。